

2019年12月16日発行

事務所 武石地域自治センター内
TEL:0268-85-3667
<http://www.s-takeshi.jp>
印刷 中澤印刷株式会社



★優勝★となりのトトロ

第3回仮装大賞

11月2日(土)すっかり恒例となった武石の秋の風物詩、おさんぽギャラリーのメインイベント第3回仮装大賞が開催されました。

台風の被害があり、主催者は中止も考えたとのことですが「頑張ろう武石!」を合言葉に10組の出場者(台風の影響で1組欠場)が趣向の凝った仮装・演技を披露し、観客の盛大な拍手を浴びていました。



出場10組、スタッフ、審査員が勢ぞろい



三井勝彦さんの「TTで東京」の重量挙げ

優勝は「おまりもチーム」による「となりのトトロ」。夕方雨のバス停、傘を差し妹をおんぶしてお父さんを待つシーンに文句なく20点満点の優勝となりました。また、テレビの仮装大賞50回出場の富士見町三井勝彦さんは早変わりでもオリンピック6種目を演じ、観客はびっくり!

この日は、真田町から17店など様々なブースが出店し、またJAフェスティバルとしておなじみのうどんやそば店なども多くの人でにぎわいました。

(写真提供は 鳥屋 滝澤詳治さん)

たけしカルタ歴史さんぽみち

「武石ってこんなにいい所だったの。」
「雲溪荘や花桃の里とかは知っていたけど、
改めて小沢根や余里を知りました。」
「60年以上、武石に住んでいて
知らなかったことが多いですね。」
「意外と耕地があるんですね。
普段車で通っていても気が付きませんでした。」

これは参加者の感想です。

昨年から3回目となる「たけしカルタ歴史さんぽみち」を11月16日(土)に開催し、子ども2人を含む43名が参加しました。数日前に初霜が降り天候が心配されましたが、良い天気の中歩くことができました。武石体育館駐車場から、小沢



根、余里地区を巡る約5kmの散策でした。

この地域は、武石小学校のカルタに6枚詠まれています。子檀嶺神社の御柱、小沢根の木造聖観音など、改めて、自分の目、耳で確かめることができましたが、さらに他にもたくさんの見どころがありました。講師は、前回と同じ郷土史研究家でもある本会児玉会長が行いました。毎回、わかりやすく丁寧な説明に、参加者から好評をいただいています。

武石の先人たちの思いに馳せ、地域の歴史的建造物・風景に触れ、特に子ども達に、もっと武石を知り、武石を好きになって欲しいとこの企画を実施してきましたが、今回で武石地域を一巡りしました。これらの経験をもとに、今後、新たな考えを入れ企画運営をしていきたいと思ひます。

(子育て教育文化部会員 K)



武石スマイル号に関するアンケート調査を実施

健康福祉体育部会では、今後免許返納等で高齢者の足の確保が課題になることが予想されることから、武石地域の公共交通システムである武石スマイル号等に関して、高齢者の利用状況や要望等を把握するため高齢者クラブの御協力をいただき、アンケート調査を実施しました。

アンケートの対象者は武石高齢者クラブ会員で、本年7月から8月に単位クラブを通じて実施され401名(回収率73.4%)の皆さんから回答、ご意見をいただきました。

調査の結果、大多数の皆さんはスマイル号を知っており、利用したことがあると回答した方は24%、内半数の方は恒常的に利用していますが、利用者はあまり多くないという結果でした。利用の目的は通院と回答した方が多数でした。

また、回答者の75%が車等の運転をしており、

免許証の返納率は6%に止まっています。将来運転をしなくなった場合は、多くの皆さんがスマイル号を利用したいと回答しており、潜在的な利用者数は多いことが分かりました。

健康福祉体育部会では、皆さんからのご意見や調査結果を参考に地域状況や要望に即したより良いシステムとなるよう、また利用促進につながるよう調査研究を行い地域協議会等へ提言していきたいと思ひます。



小沢根地区の十日夜



11月9日(土)、秋晴れの中、小沢根地区で十日夜(とおかんや)の行事が行われました。毎年

11月10日前後の土・日に小学生以下の児童を集め開催されています。

午前中は、小沢根公民館で小沢根のひまわりクラブ(高齢者クラブ)の皆さんが藁鉄砲を作り、子供たちは餅つきをしました。

午後からは、3グループに分かれ、小沢根の家々



を訪問し「とおかんや、とおかんや、とおかんやのわらでっぼう、夕飯食ったらぶっ叩け、も一つおまけにぶっ叩け」と大きく唱えながら玄関先を藁鉄砲で清めて回りました。これは、作物にいたずらをするモグラを追い払う意味を持っています。

各家からはお礼のお菓子をいただき、公民館に集合、子供たちが毎年楽しみにしているメインイベント、集められた沢山のお菓子を皆で平等に分けました。

今年の参加児童は12名、児童の減少で途絶えた時期もあったようですが、保護者や地区公民館・高齢者クラブの皆さんなどに支えられ、小沢根の大切な行事として引き継がれています。

仕事をするってどういうこと!?

ふれっザニア 地域の仕事 児童が職業体験

「楽しかった!」体験を終えた子ども達は、少し誇らしげな顔に変わっていました。

小学生が、地元にある多様な職業を体験する催し「ふれっザニア」が、11月23日勤労感謝の日になみ「ふれんず武石児童館」の主催により同館で開かれました。

このイベント

は、地域にどんな仕事があり暮らしを支えているのか知ってもらい、働く魅力に触れてもらおうと、大工、植木職人、電気技師、看護師、介護福祉士、調理師の皆さんを講師に招いて児童に体験してもらう初めての試みとして行われました。

体験会には、市内を始め東御市からも児童約30名と父母が参加しました。最初は緊張していた子ども達も、非日常の体験にワクワクしながら、真剣に取り組んでいました。

この体験を通じて、子ども達は、大人の世界を少しのぞきながら夢を膨らませ、地域のことも今まで以上に学ぶことができた1日となりました。



植木職人



介護福祉士



大工



電気技師

台風19号災害

住民の自発的な支えあいが機能



武石新橋 橋台付近の道路が陥没、トラックが転落



荷物運搬のために台車の提供もありました。

10月12日から13日に襲来した台風19号は、武石新橋、上小寺尾橋の橋台護岸の決壊や村道小沢根線などの土砂災害、番所ヶ原スキー場の今シーズン封鎖など多くの被害をもたらしました。特に地域の幹線県道に架かる武石新橋は、1週間弱通行止めとなり、上・下本入の住民を始め通勤・通学・通院・買い物・出荷物など多くの人の生活・産業に影響が出ました。

13日夕方には歩行者の通行は可能になり、行政が自治会の協力をいただき橋の両側に駐車場を確保したことで車を乗り継ぐことができるようになりましたが、駐車場への誘導や、交通整理などに人員が必要となりました。このため「住みよい武石をつくる会」と「自治連」の呼びかけにより15日から18日まで、多くの方がボランティアとして交通整理、児童の見守りなどに協力しました。早朝6時半から9時と夕方4時から7時までは住民ボランティアが、日中の9時から夕方4時までは「長野大学の学生ボ

ランティア」が誘導に当たりました。延べ人員で住民57人、長生大26人の方が参加協力いただきました。

武石地域に初めて出された
避難指示、避難勧告

台風19号では、大雨特別警報が発表され、人や家屋等への被害が予想されるとして、武石地域でも土砂災害警戒区域住民に避難勧告が、また浸水が予想される中島・敷合地区に避難指示が発令されました。

避難指示等が発令されたのは武石地域では今回が初めてです。12日午前10時30分に避難準備情報が発表されていたとはいえ、夜8時の避難指示・勧告の発令でした。既に真っ暗な土砂降りの雨の中でした。実際にこの日は、数十名の方が避難場所である武石小学校体育館、築地原トレーニングセンターに避難しました。

私たちは、避難情報が発令されたとき、どのように行動すればよいのでしょうか。地球温暖化が進み、台風などこれからは災害が大型化すると言われています。これまで大丈夫だったからというような思い込みは危険です。また、夜中や増水で足元がおぼつかないような場合は避難せず、自宅の2階や山側から遠い方の部屋にいるという判断も必要とも言われます。個人としてまた、自治会としてどう対応したらよいか考えておく必要があります。

市で配布しているハザードマップをも



交通整理に当たるボランティア

う一度確認したり、食料等非常時の持ち出し物の準備もしておきましょう。避難場所の確保、毛布や水、食料、燃料の確保等についてあらかじめ自治会内で話し合い、確認しておくことが必要といえるでしょう。

もしエリアトークがなかったら

今回の台風災害において、エリアトークは大変有用であることが示されました。

橋や道路の被害・通行止めなどの速報、避難指示・勧告の発令、停電・断水情報、そして災害後の生活支援の情報など「武石地域の情報を、迅速に、確実に、一斉に伝える」ことができました。今回の災害で、もしエリアトークがなかったら住民生活に大きな混乱があったと思われます。

災害が発生したとき、エリアトークは私たちの生命・生活を守る必須アイテムです。

未加入の皆さんはさっそく加入しましょう。申し込みは、住みよい武石をつくる会事務局(☎85-3667)へお願いします。

電池は大丈夫？

エリアトークは、電池を内蔵しており受信機を移動して使用できますが、コンセントから外すと、1日ほどで電池が終わってしまいます。時々電池切れでないかをチェックしましょう。受信機左上の2番目の赤ランプが点灯していると電池切れです。

練馬区から 災害復旧応援の職員派遣

今回の災害は個所数、規模が大きく市の職員の負担が大変大きくなっています。このため武石地域の災害復旧事業の応援に、練馬区から土木関係の5名の技術職員に来ていただき、主に国の災害復旧事業申請書の作成などの業務をしていただいています。これは上田市と練馬区が「災害時相互応援に関する協定」

を結んでいることによるもので、10月中旬から、年内一杯協力していただく予定です。



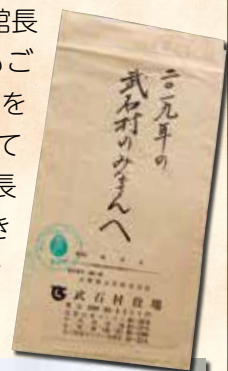
ともしび博物館 開館30周年記念 タイムカプセル開扉式典

11月4日、ともしび博物館開館30周年とタイムカプセル開扉式典が開催されました。

地域の文化活動の中心であるともしび博物館が、30年間を振り返りながら新たな出発点となる区切りの記念式典です。

また、旧武石公民館前庭から掘り出されたタイムカプセルが開封され、30年間眠っていた当時の保育園児、武石小学校児童の絵画や、家族や子供などにあてた手紙、当時の永井村長のメッセージなど1,112点が取り出されました。30年前の切手が貼られた手紙については、当時の村長と武石郵便局長の覚書により現武石郵便局の滝沢局長に渡され、数日後に宛先に配達されました。

当時村助役だった竹内賢さんは、「平成元年は村政100周年ということで様々な事業を企画した。堀之内の北沢彰先生には博物館の建設、初代館長を務めていただいたほか村誌の発刊もご苦労していただいた。タイムカプセルを埋めた当時、30年後にまだ自分が生きているとは想像もできなかった。永井村長が30年後に贈るメッセージを書くときは自分も相談も受けたりした」と当時を懐かしんでいました。



30年前からの村長のメッセージ

お知らせコーナー

令和2年上田市成人式 武石会場

- ・1月12日(日) 午前11時
- ・武石小学校体育館
- ・平成11年4月2日～平成12年4月1日に生まれた方

武石を盛り上げる
人やグループ紹介

武石の人 団体

武石 地域を見守り、安心・安全な地域づくりに日夜尽力されている山浦さん。上田警察署武石駐在所長として昨年3月の着任以来「外に出ること」をモットーに、地域の巡回連絡業務を通して防犯活動、交通安全、子供や高齢者の見守りパトロールなどを精力的におこなっています。「武石のお年寄りの方は皆さん元気で、野良仕事に出ているので、巡回訪問してもなかなかお会いできないのが大変です」と苦勞を話していました。



“**自然**に恵まれ人情あふれる武石”は特に気に入ったようで、時間が許すときは「ナイターソフト」「カラオケクラブ」「童謡唱歌をうたう会」等、様々な場面で積極的に武石の地に溶け込んでいます。

特技はズバリ、ギター演奏。“ギター奏でるミュージシャンポリス”として、明るい地域づくりの一助となればと丸子有線放送の番組やSBCラジオ「ずくだせエブリデー」にも出演しています。

武石デビューは昨年の「ともしび芸能祭」とのことで、以来、講演や演奏のオファーも増えたそうです。本年は11月1日の武石小学校音楽会にも登場、

童謡唱歌をうたう会と教職員合唱の時にステージ脇でのギター伴奏で校長先生とコラボ出演、「あー、お巡りさんだ!・・・」と児童からも大喝采でした。



武石駐在所長 山浦 剛さん



ギターとの出逢いは高校時代のエレキギターからで、様々な曲と付き合ってきたといいます。数年前からはアコースティックギターにハマっているとのこと。時には武石公園の岩の上に腰掛け、美ヶ原を望みながら練習もしたそうです。

さて、そんなエンターテイナーの山浦さんですが、お話の最後に、「年末年始を迎えるこれからの時期、大きな事件や事故が比較的少ない武石地域でも、一人ひとりの防犯や交通安全の心がけとして、以下の3点が重要なポイントです」と留意点を話してくれました。



- ①施錠を徹底して防犯意識を高めましょう。
- ②はがきやメールによる架空請求詐欺、警察官と偽ってキャッシュカードなどをだまし取る特殊詐欺、消火器の訪問販売などに気を付けましょう。
- ③薄暮時間帯や凍結道路での安全運転を心がけましょう。

安心・安全な地域づくりのために住みよい武石を支える山浦さん、『少しでも心配なことがあったら、遠慮せずにご相談ください』とのことでした。

《武石駐在所》 TEL 85-2110

《上田警察署》 TEL 22-0110

※もちろん、片羽の駐在所に直接お越しくださってもOKです。